

01

1月 2022

タイルから学んだこと

by NCM2 CHOIR

全3page



2021年最後の礼拝の日のことです。礼拝が始まる10分前に教会に着きました。夫も私も車の外に出ましたが、後ろ座席から物を出す前に夫が車を締めました。そこで、自分の荷物を出すために私は自分の鍵で、ドアを開け、中の荷物を採って車の鍵をし、教会の中に入りました。ドイツではいつも歳末に歌われるという、“良き力に支えられて”が、NCM2によって賛美されました。

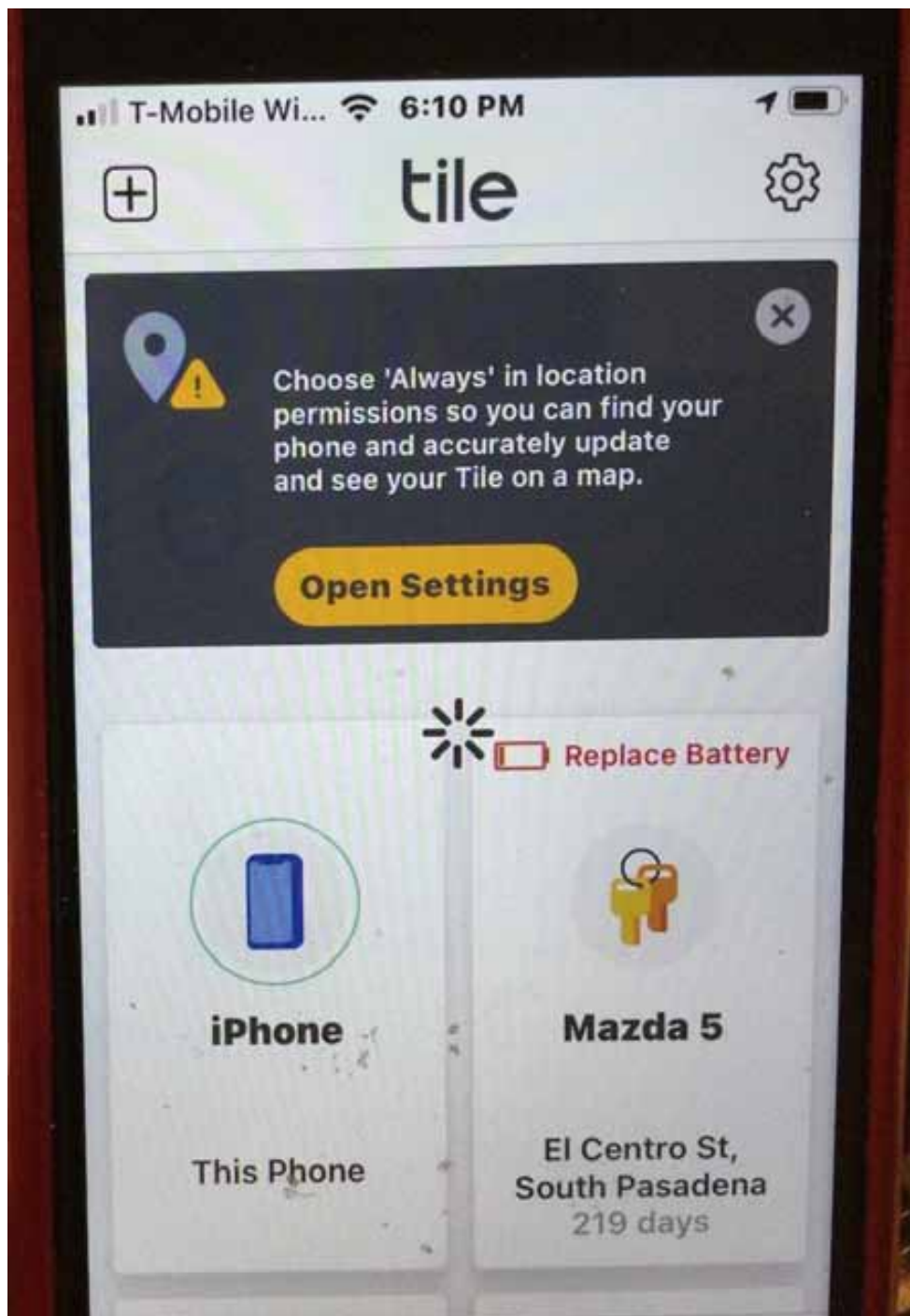
▶ YouTube <https://www.sanbi.us/post-31827/>

(NCM2 CHOIR (New Christian Music Ministry) メンバーとアソシエーツのブログ より)

この度、この日をもって私達の教会での賛美は最後にするという NCM2 の方々へ小さなプレゼントを持って行って行っていました。それを礼拝前にその方達にお渡ししました。

礼拝が終わりました。気が付くと私の車の鍵がありません。

でもあわてることはありません。そういう時のために**タイル**という重宝なものを持っているからです。これは携帯電話と車の鍵両方に設置する物で、携帯電話の行方を捜すときには鍵につけている小さなタイルを押します。そうすると、携帯電話が鳴るのです。



反対に鍵が見つからないときには、携帯電話に入っているタイルのところを押すと、鍵につけてあるタイルが鳴るという仕組みになっているからです。

ところが、ところが・・・です。

携帯のタイルのところを押しても何もきこえないではありませんか。電話の画面の表示はぐるぐるまわって教会の中を指し示すのですが、音がきこえないのでどこにあるかわかりません。つまり、教会のどこかになるのです。教会の方々も協力してあちこちみていただきましたが、みつかりません。

そしてわかりました。鍵の方のタイルのバッテリーが切れているという表示が携帯電話に出ました。だから鳴らないのです。そこで、教会に残っている方たちに祈りの要請とともに、みつかったら教えてくれるように頼んで、夫の鍵を使って帰途につきました。

そして3時間くらいすぎたころ、NCM2の隊長から電話をいただきました。なんと鍵があったということです。差し上げたプレゼントの中にみつかったということでした。祈りはきかれました。それとともにこれって、なんだか、信仰生活に似ているという気がしたのです。

私達がいつも神様につながっていなければ、神さまの方で私達を探してここに主がいると言ってくれても、私達の方で応答ができないのです。もちろん、すぐバッテリーをタイルに入れました。これからはそんな鍵をなくすという事態がおこってもすぐみつかることでしょう。

「主よ、ここにおります」あのサムエルが答えたように私達も、今年一年、すぐ神様に答えられる者でいますように。

竹下弘美



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

メール oriochurch@outlook.jp

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00) URL <http://www.oriochristianchurch.net>